GIT&WSL入門請 座2021

54代 HarrisonKawagoe(@hrsnkwge_pro)

講座内容

- イントロダクション
- GitHubアカウントの作り方
- Gitの導入
- GitとGitHubの使い方
- WSLの導入
- WSLの使い方(Cプログラムのコンパイル)



ソースコード管理の重要性

- チーム開発では機能ごとに仕事を振り分けることが多く、チームメンバーが書いたソースコードを採用したり、添削したりするなど、プロジェクトを効率的に管理することができる
- 履歴が残るので、何が問題があったらロールバックできる



GITとGITHUBの違い



• Git:ローカルでソースコードを管理する為のツー ル

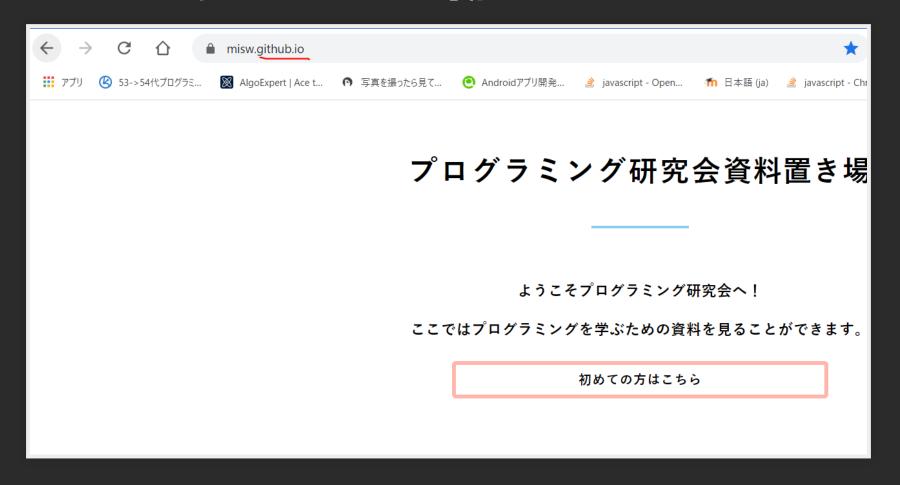




• GitHub:gitと組み合わせて、リモートでソースコート管理する為のプラットフォーム

_

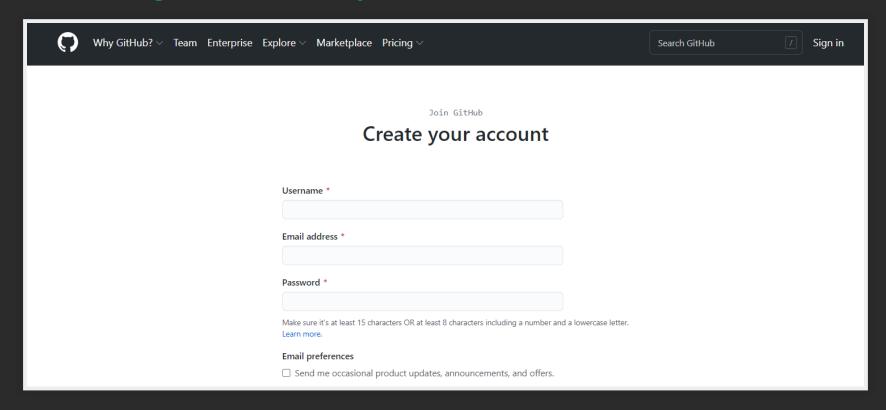
リポジトリのソースコード管理だけではなく、サイトを公開したり、Webアプリを自動でデプロイさせたりすることも可能





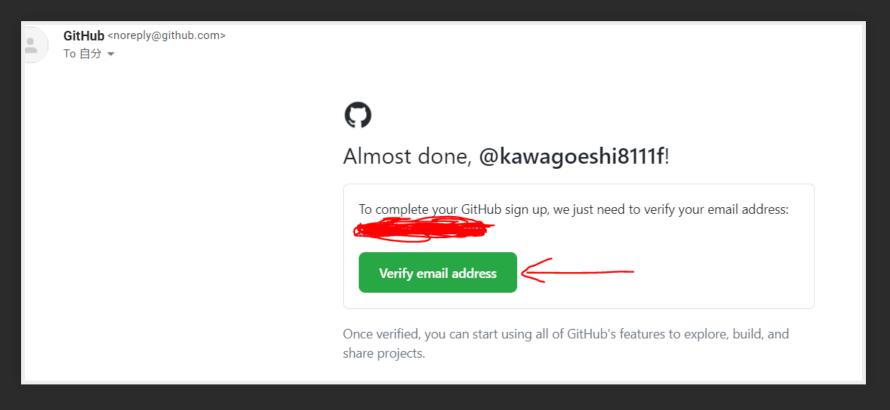
GITHUBアカウントの作り方

https://github.com/join





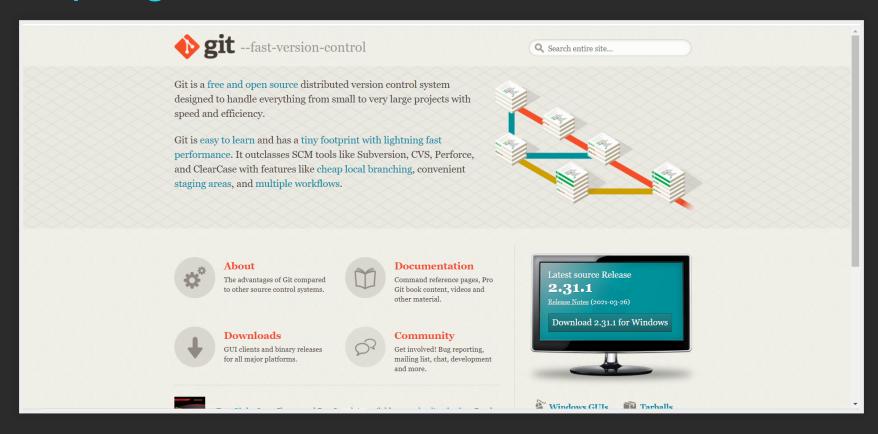
認証用のメールが届いたら、メール内の 「Verify」ボタンをクリックして、アカウントを 有効化します





GITの導入

https://git-scm.com/



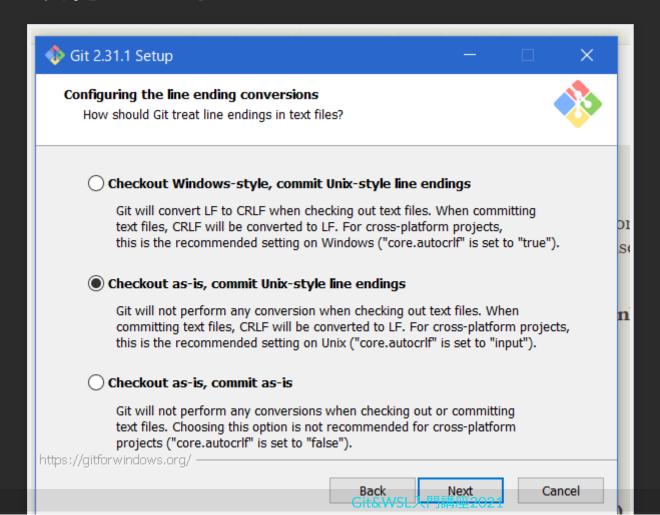
- Macの場合、デフォルトでGitが入っていることが多い
- ターミナルで、「git」を叩くと、Gitが入っているかどうかを確認できる



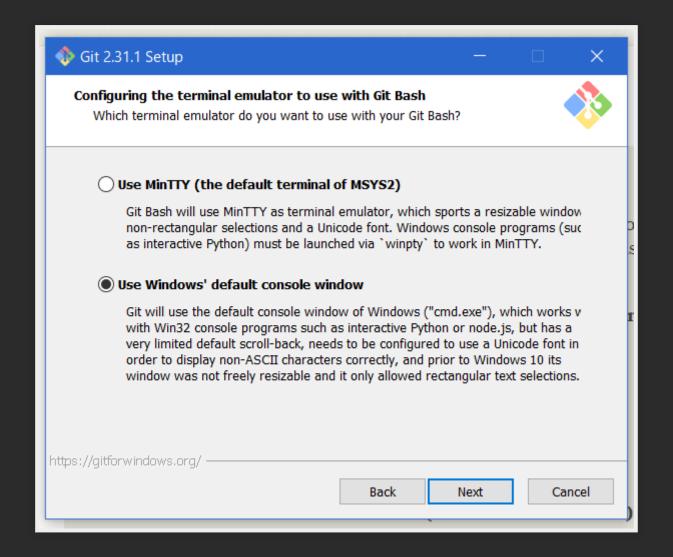
- Linuxのパッケージマネージャーから導入することも可能
- https://git-scm.com/download/linux

sudo apt install git

- Windowsの場合、以下の画面が出るまでに、ひたすら「Next」ボタンをクリックし続ければ良い
- 改行コードはLFにする





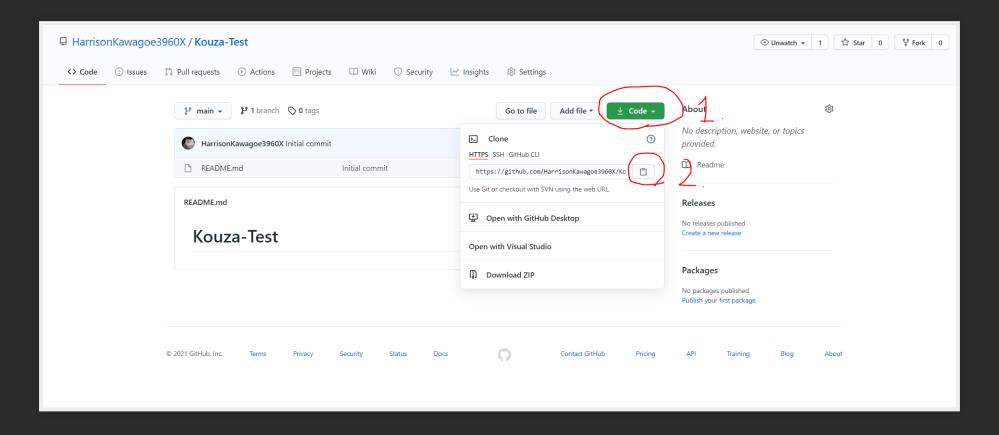




Gitコマンドを叩くと下記のように出力されればOK



ソースコードのダウンロード(CLONE)





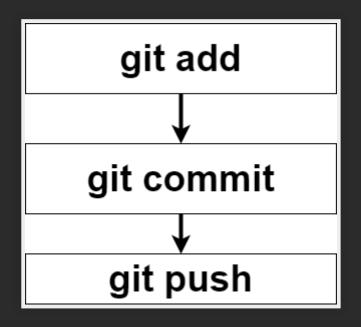
• cloneコマンドを叩くと、リポジトリがダウンロ ードされる

```
git clone [url] cd [リポジトリ名]
```

```
C:\Users\HYZIT>git clone https://github.com/HarrisonKawagoe3960X/Kouza-Test.git Cloning into 'Kouza-Test'...
remote: Enumerating objects: 3, done.
remote: Counting objects: 100% (3/3), done.
remote: Total 3 (delta 0), reused 0 (delta 0), pack-reused 0
Receiving objects: 100% (3/3), done.
```



ソースコードの変更が反映されるまで





GIT ADD

• 変更したファイルを追加する時に使うコマンド

git add [ファイル名]

• [ファイル名]を.にすると、変更があるファイルを全部追加してくれるので、大半の場合は下記のコマンドで良い

git add .



GIT COMMIT

• 変更履歴を作成する時に使うコマンド

git commit -m "[Message]"

Vimなどのエディタの使い方がわかる人は、-mでメッセージを指定せずに、git commitを入力した後の次の画面でコミットメッセージを入力すれば良い



GIT PUSH

変更をリモートに反映するコマンド

git push origin [ブランチ名]

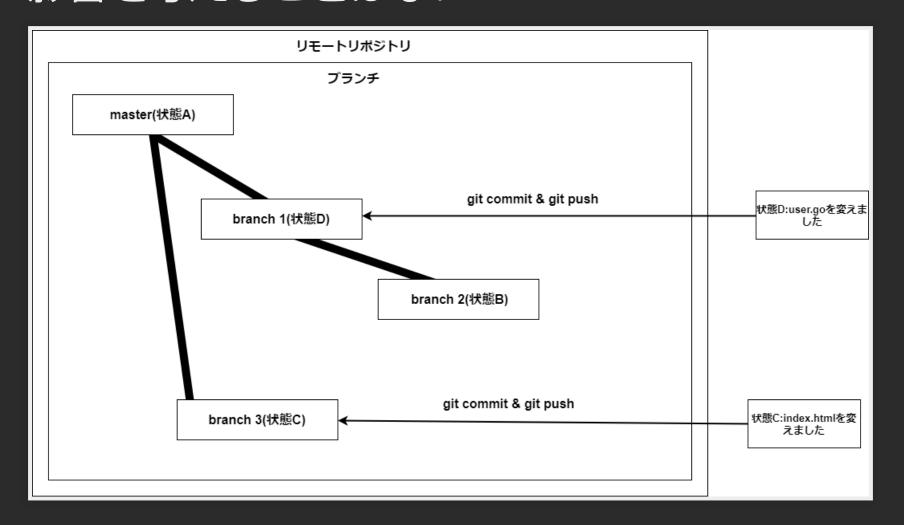
既存のリポジトリで作業している場合は、git pushだ けでもいける



ブランチ

- チーム開発で機能ごとに仕事を振り分けられる際 によく使われる
- master(main)ブランチは本番用のコードを管理するのが一般的で、実際に作業する際はmaster以外のブランチでやったほうが管理しやすい

特定のブランチに変更をpushしたとしても、 mergeコマンドを使わなければ、他のブランチに 影響を与えることはない



ブランチの作成

git checkout -b [ブランチ名]

ブランチの切り換え

git checkout [ブランチ名]

ブランチの確認

git branch



新しく作成したブランチで初めてpushする場合は、 下記のコマンドを入力する:

git push --set-upstream origin [ブランチ名]



gitとGitHubを試してみたい人は: https://github.com/HarrisonKawagoe3960X/Kouza-Test



リモートの変更をローカルに反映 する(PULL)

git pull origin [ブランチ名]

現在使用しているブランチの変更をローカルに反映する場合は、

git pull

だけでも問題ない



リモートの変更をローカルに反映 する(PULL)

git pull origin [ブランチ名]

現在使用しているブランチの変更をローカルに反映する場合は、

git pull

だけでも問題ない



リモートの変更をローカルに保存 する(FETCH)

git fetch origin [ブランチ名]

ただし、変更は現在作業しているローカルブランチに 反映されない



他のブランチ(あるいはリモートブランチ)の変更をローカルブランチ (MERGE)

git merge origin [ブランチ名]

現在使用しているブランチにmergeする場合は:

git merge

だけでも良い。



PULL,MERGE,FETCHの関係:

Pull = Fetch + Merge



ロールバックしたい場合は:

```
git log
git reset --hard [¬ミットid]
```



特定のファイルをバージョン管理から除外したい場合:

gitignoreファイルを作成して、除外したいファイルとフォルダーを記述すれば良い

gitignore - メモ帳				-	×
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)					
.DS_Store					^
judge/*					
codetest/*					
pycache					
*.pyc					
env/					
postgres_data/*					
db.sqlite3					
<	0 (= 1 FII	1000/	Heir /LE)	LITE O	>
171 <u>4'15 4M</u> T+ 18 N+ 13 7N 1 KR	9 行、1 列	100%	Unix (LF)	UTF-8	

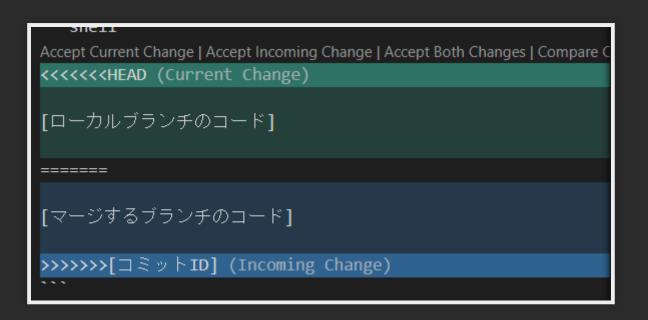


MERGEが失敗した場合の対処法(コンフリクト):

コンフリクトが起こったファイルの中では、下記 のように記述されるので、採用するコードだけの 残せばよい:

```
<<<<<<HEAD
[ローカルブランチのコード]
======
[マージするブランチのコード]
>>>>> [コミットID]
```

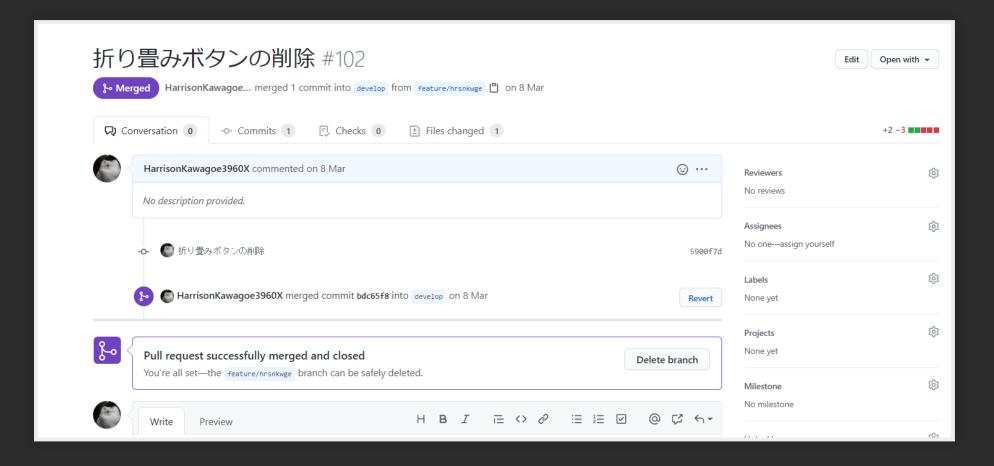




- エディタを使うと分かりやすい
- コンフリクトが発生したファイルが多い場合、 GitHub Desktopを使うと直しやすい
- 必要のないファイルは(キャッシュやビルドファイルなど)はソースコード管理から外す

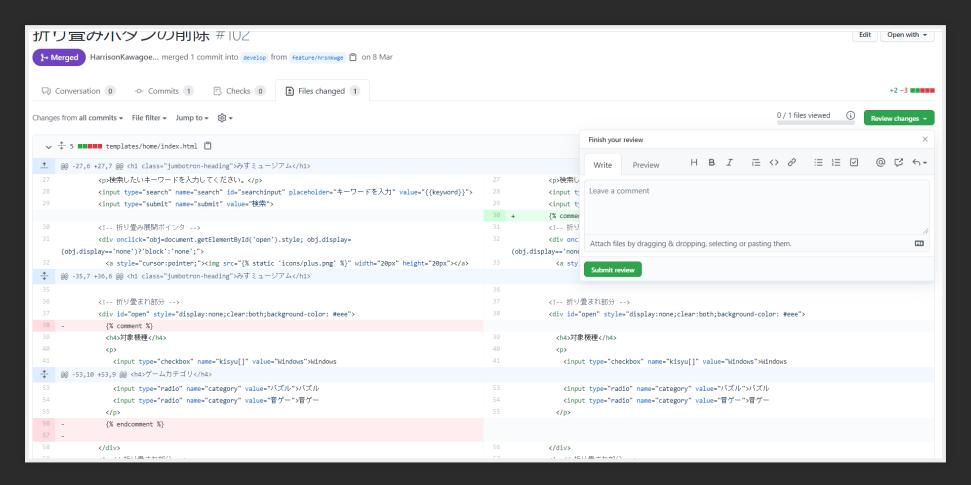
PULL REQUESTを使おう!

- 特定のブランチから変更をリモートにプッシュした場合、管理者は変更を採用したり、拒否したりすることができる
- 変更を採用した場合は、変更が指定されたブランチにMergeされる

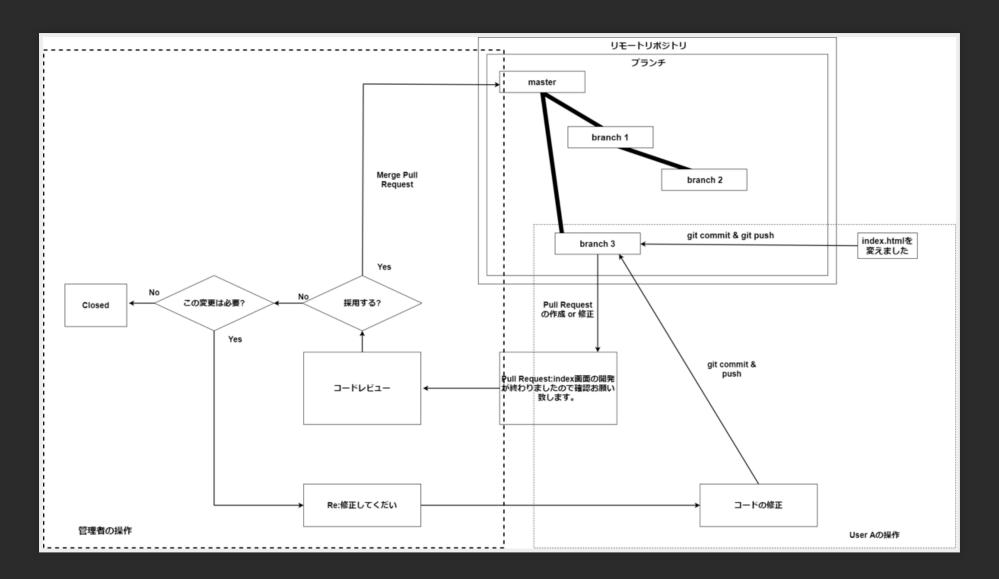




CODE REVIEWでソースコードをチェックしよう!

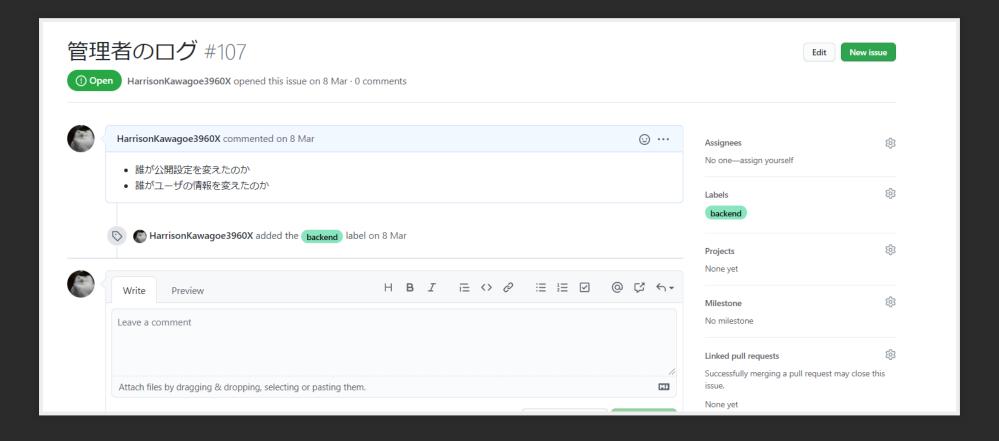








バグの報告、要望などがあれば ISSUEを投げよう!





 オススメのチュートリアル: https://backlog.com/ja/git-tutorial/

WSL(は何?

• Windows Subsystem for Linux とは、Linuxのバイナリ実行ファイルをWindows 10およびWindows Server上でネイティブ実行するための実行環境である。(Wikipedia参照)



なぜWSL?

- 最近のWebアプリなどのプログラムは、LinuxあるいはUnixで実行するのが前提となっている
- GCCなど授業で使われるコンパイラやプログラムの多くも、Linux(Unix)環境が無いと実行できない
- 本当はネイティブのLinux環境が望ましいが、OS を入れるのはちょっとハードルが高い
- WSLはWindowsのファイルシステムと連携しているので、ファイルのアクセスが便利



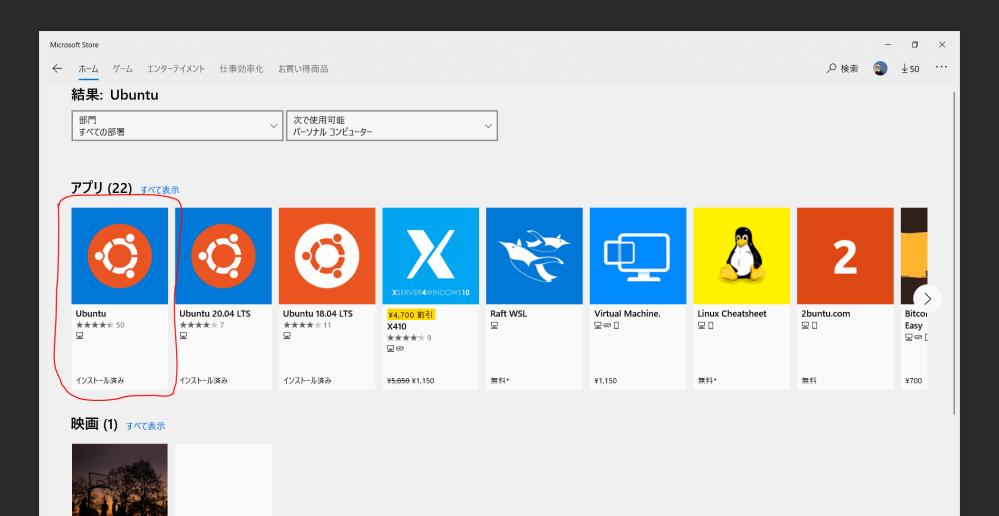
導入方法

https://docs.microsoft.com/ja-jp/windows/wsl/install-win10

初めてLINUXを使うのであれば、 UBUNTUをPCに入れよう!

- 初心者に優しい
- 利用人数が多い
- 情報系の授業でも勧められている





よく使われるLINUXコマンド

• root権限の取得

sudo -s

指定したディレクトリへ移動

_____ cd [**フォルダー名**]

ファイルの作成

touch [ファイル名]

ファイルの実行

./[ファイル名]

https://qiita.com/kenichi t/items/a29e1254f289fd9c7df2

APTの使い方

• アプリのインストール

sudo apt install [パッケージ名]

パッケージー覧を更新

sudo apt update

インストールしたアプリの更新

sudo apt upgrade

https://qiita.com/SUZUKI_Masaya/items/1fd9489e

• GCCなどのビルドツールの導入

sudo apt install build-essential

- Java8 : openjdk-8-jre
- Python3: python3 python3-pip



オススメのエディタ

 Linuxではコマンドラインでファイルを変更する ことが多いので、自分に合うエディタを選ぶと作 業効率が上がることがある。



• Vim:

https://qiita.com/okamos/items/c97970ab34ff55ff3

```
#include <stdio.h>
int main(void){
 printf("Hi!\n");
 return 0;
:wq!
```

nano:

```
#include <stdio.h>

int main(void){
    printf("Hi!\n");
    return 0;
}

**G Get Help **O Write Out **W Where Is **K Cut Text **J Justify **C Cur Pos M=U Undo M=A Mark Text **X Exit **R Read File **\ Replace **O Paste Text **T To Spell **_Go To Line M=E Redo M=6 Copy Text
```



ご清聴ありがとうございました!

